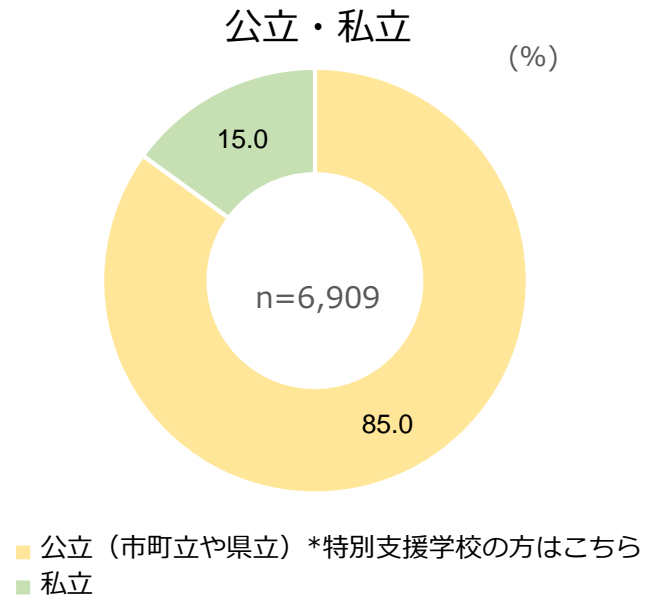
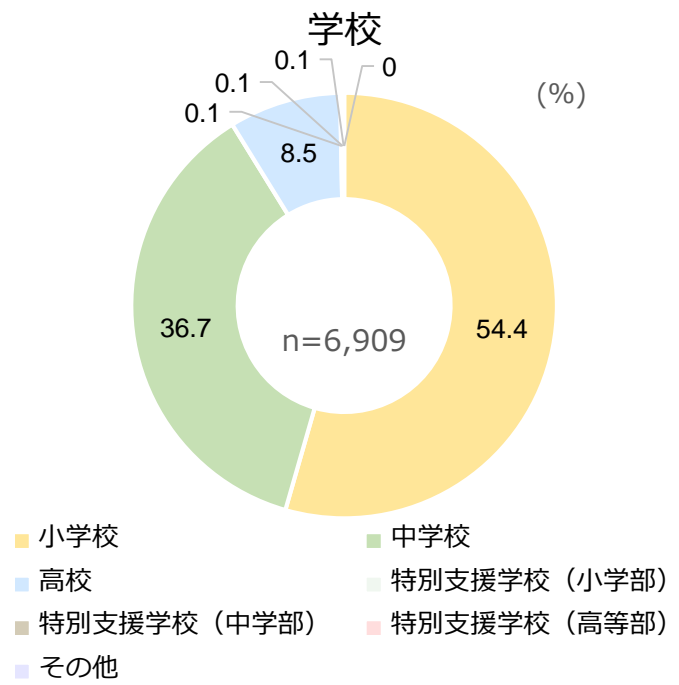
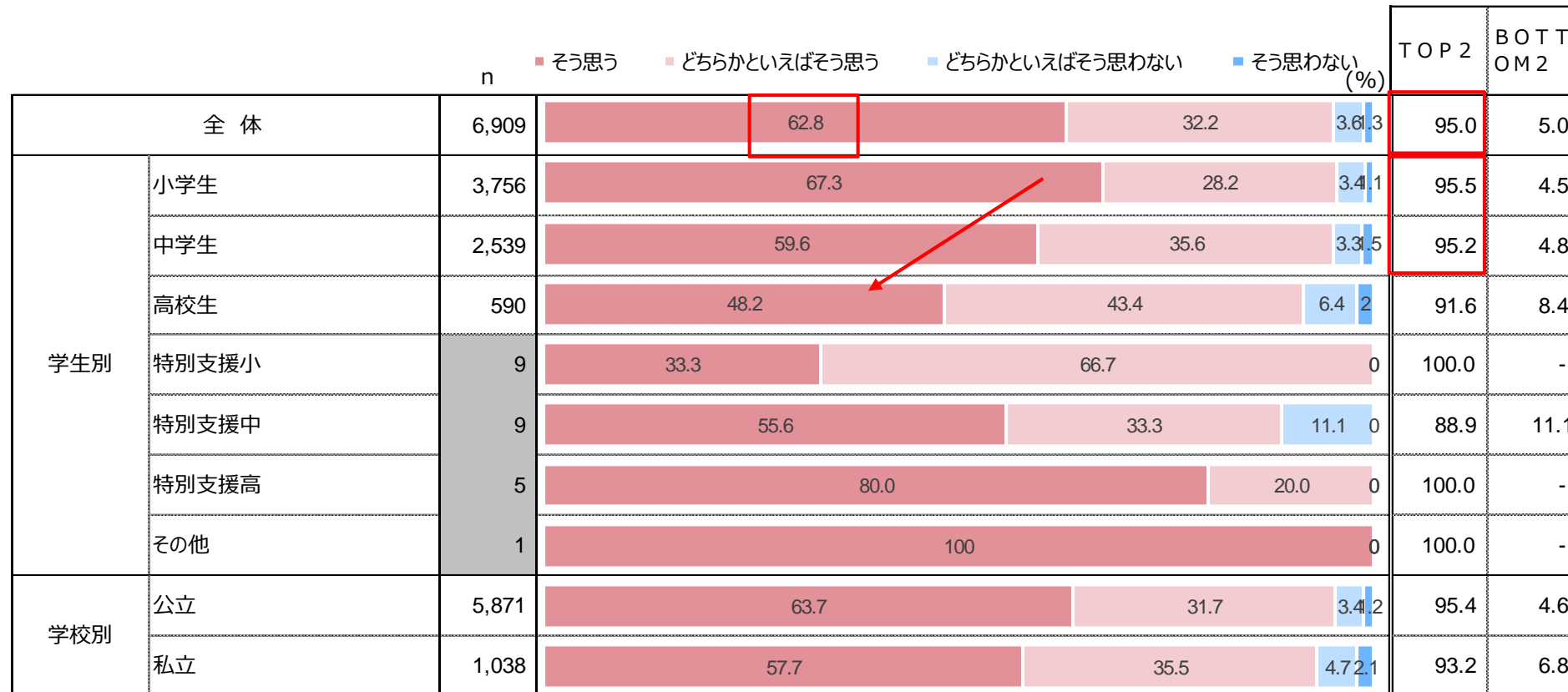


**①長崎市在住の小学5・6年生、
中学生、高校生**



全体では「そう思う」が6割強、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたTOP2は9割半ばとなっている。
学生別では「そう思う」割合は小学生は7割弱、中学生は6割、高校生は5割弱と学齢が下がるごとに高くなっているが、TOP2では小学生と中学生の差は見られなかった。

Q4. 今、自分は幸せだと思いますか？ (1つ選択)



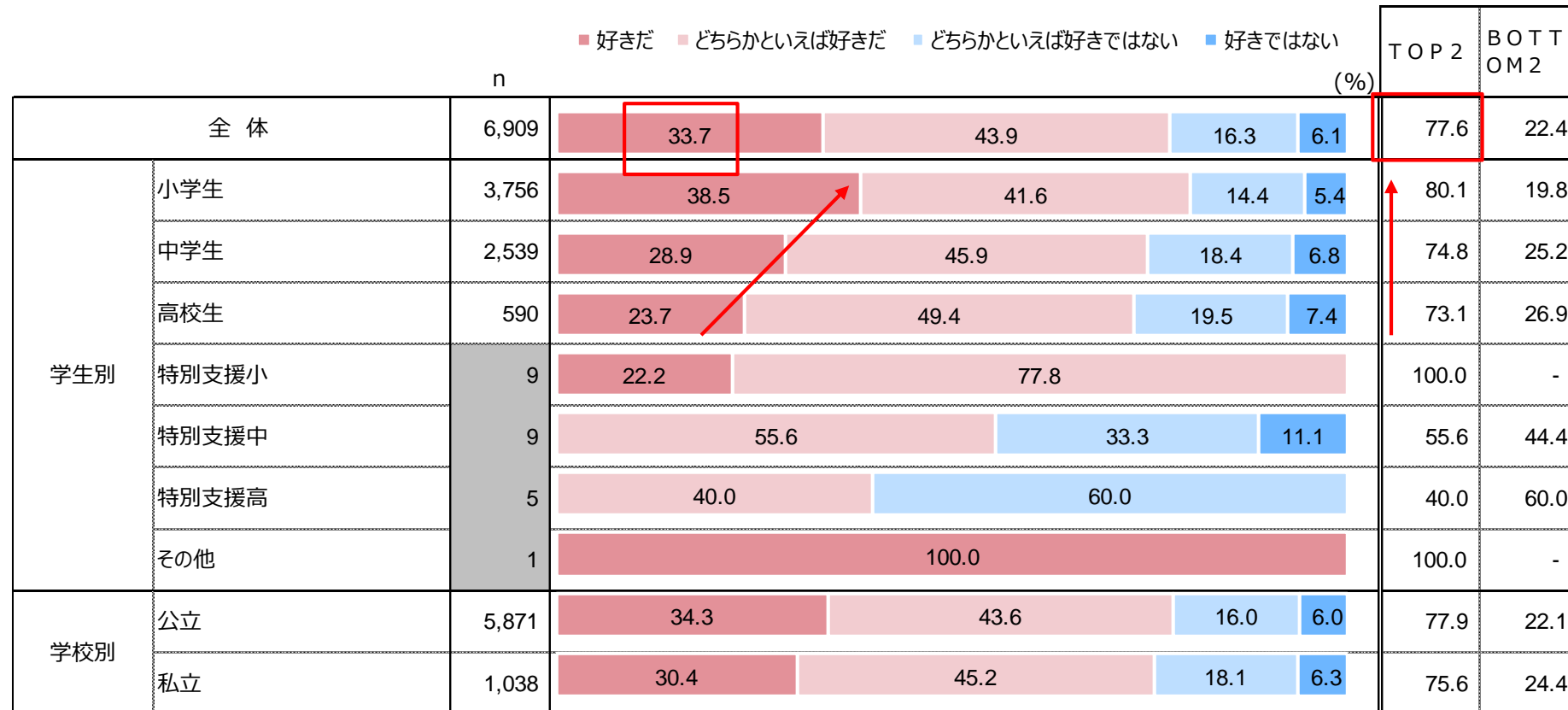
※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえばそう思う の合計
BOTTOM 2 = どちらかといえばそう思わない + そう思わない の合計

今の自分が好きか

全体では「好きだ」は3割半ば、「好きだ」「どちらかといえば好きだ」合わせたTOP2は8割弱となった。
学生別では「好きだ」は小学生が4割弱、中学生が3割弱、高校生は2割半ば、
TOP 2 では小学生が8割、中学生が7割半ば、高校生が7割強と学齢が下がるほど高くなっている。

Q5. 今の自分が好きですか？ (1つ選択)



※nが30未満の時は参考値

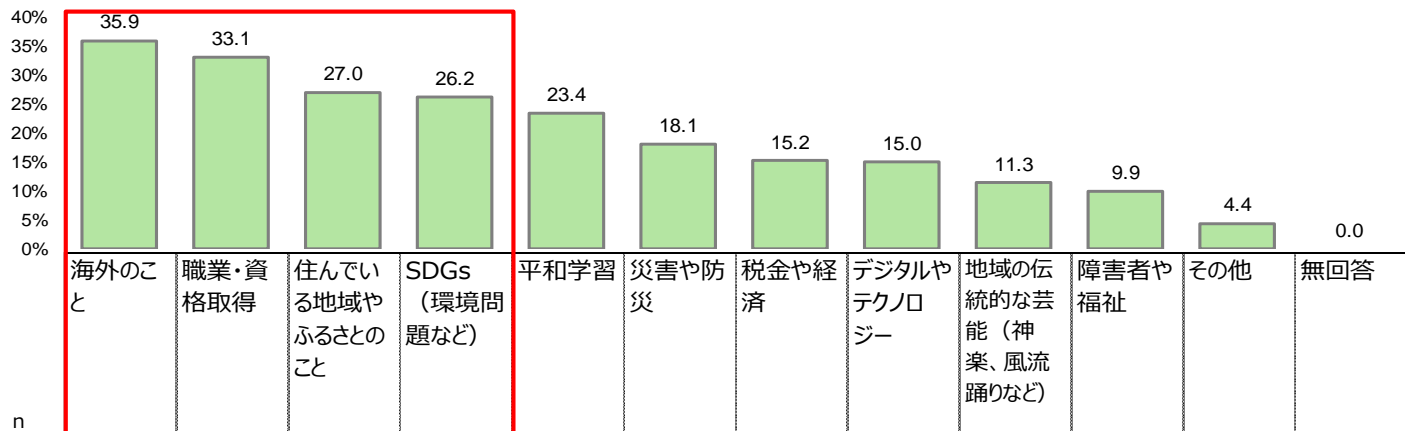
TOP2 = 好きだ + どちらかといえば好きだ の合計
BOTTOM 2 = どちらかといえば好きではない + 好きではない の合計

興味・関心がある学習分野

全体では「海外のこと」が3割半ばで最も高く、次いで「職業・資格取得」が3割強、「住んでいる地域やふるさとのこと」が3割弱、「SDGs」がそれぞれ2割半ばとなっている。

学生別では「職業・資格取得」は小学生が2割強に対して、中学生4割半ば、高校生5割と学齢が上がるほど高くなっており、「税金や経済」も同様の傾向がみられる。対照的に「平和学習」「災害や防災」は学齢が下がるほど高くなっている。

Q6. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか？ <総合的な学習（探究）で取り組みたいことなど> (3つまで選択可)



		n	海外のこと	職業・資格取得	住んでいる地域やふるさとのこと	SDGs (環境問題など)	平和学習	災害や防災	税金や経済	デジタルやテクノロジー	地域の伝統的な芸能 (神楽、風流踊りなど)	障害者や福祉	その他	無回答
全体		6,909	35.9	33.1	27.0	26.2	23.4	18.1	15.2	15.0	11.3	9.9	4.4	-
学生別	小学生	3,756	34.1	22.5	29.9	29.0	27.9	22.6	14.4	13.3	11.5	9.6	4.4	-
	中学生	2,539	38.5	44.7	23.6	22.7	19.0	13.4	14.8	18.1	11.6	9.3	4.2	-
	高校生	590	36.1	49.9	23.0	23.0	13.6	10.1	21.7	12.9	8.4	14.3	5.9	-
	特別支援小	9	44.4	22.2	22.2	11.1	44.4	-	22.2	11.1	-	-	-	-
	特別支援中	9	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-
	特別支援高	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	35.8	32.3	27.5	26.8	24.0	18.3	15.2	15.1	11.8	9.9	4.3	-
	私立	1,038	36.5	37.5	24.0	22.4	19.8	17.1	15.2	14.7	8.3	10.0	5.1	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い... ■

※nが30未満の時は参考値

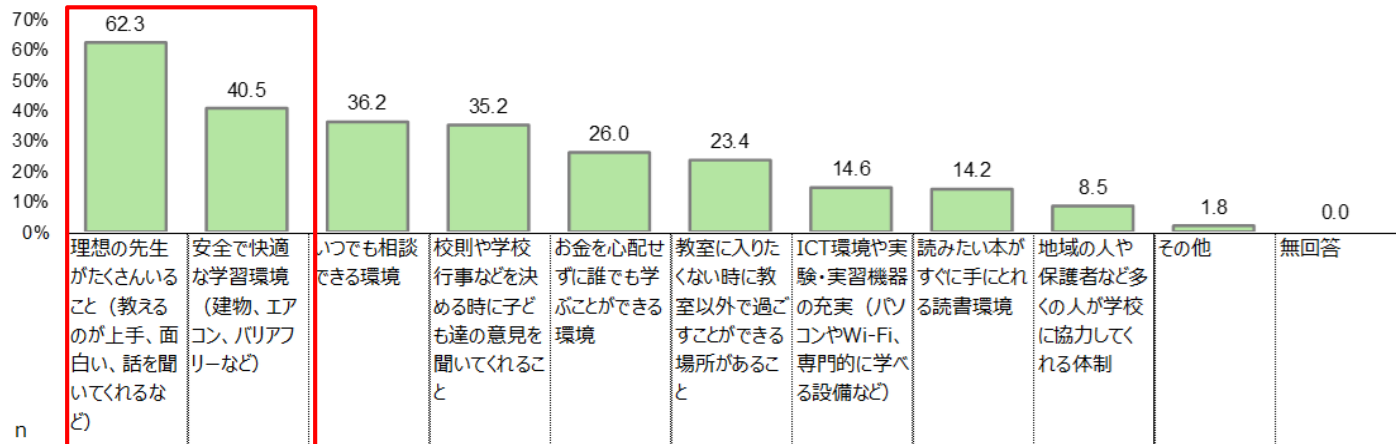
※全体順で降順ソート

より良い学校・教育のために必要なこと

全体では「理想の先生がたくさんいること」が6割強と最も高く、次いで「安全で快適な学習環境」が4割強となっている。

学生別でみると「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」「お金を心配せずに誰でも学ぶことができる環境」「ICT環境や実験・実習機器の充実」は学齢が上がるほど高く、「いつでも相談できる環境」「教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること」「読みたい本がすぐに手にとれる読書環境」「地域の人や保護者など多くの人々が学校に協力してくれる体制」は学齢が下がるほど高くなる傾向がある。

Q7. より良い学校・教育のために何が必要だと思いますか？（3つまで選択可）



		n	理想の先生がたくさんいること (教えるのが上手、面白い、話を聞いてくれるなど)	安全で快適な学習環境 (建物、エアコン、バリアフリーなど)	いつでも相談できる環境	校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること	お金を心配せずに誰でも学ぶことができる環境	教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること	ICT環境や実験・実習機器の充実 (パソコンやWi-Fi、専門的に学べる設備など)	読みたい本がすぐに手にとれる読書環境	地域の人や保護者など多くの人々が学校に協力してくれる体制	その他	無回答
全体		6,909	62.3	40.5	36.2	35.2	26.0	23.4	14.6	14.2	8.5	1.8	-
学生別	小学生	3,756	59.8	36.4	40.7	29.3	24.9	24.9	11.8	16.5	10.2	1.9	-
	中学生	2,539	64.3	45.3	31.6	41.8	25.4	22.7	17.1	12.6	7.1	1.7	-
	高校生	590	69.4	46.4	27.7	44.9	35.3	17.3	21.8	6.1	3.4	1.3	-
	特別支援小	9	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	33.3	22.2	-	11.1	-	-
	特別支援中	9	66.7	55.6	33.3	33.3	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-
	特別支援高	5	40.0	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
学校別	公立	5,871	62.7	40.5	36.0	35.1	25.6	23.6	14.1	14.9	8.6	1.7	-
	私立	1,038	59.8	40.9	37.5	36.2	28.3	22.5	17.4	9.9	7.9	2.2	-

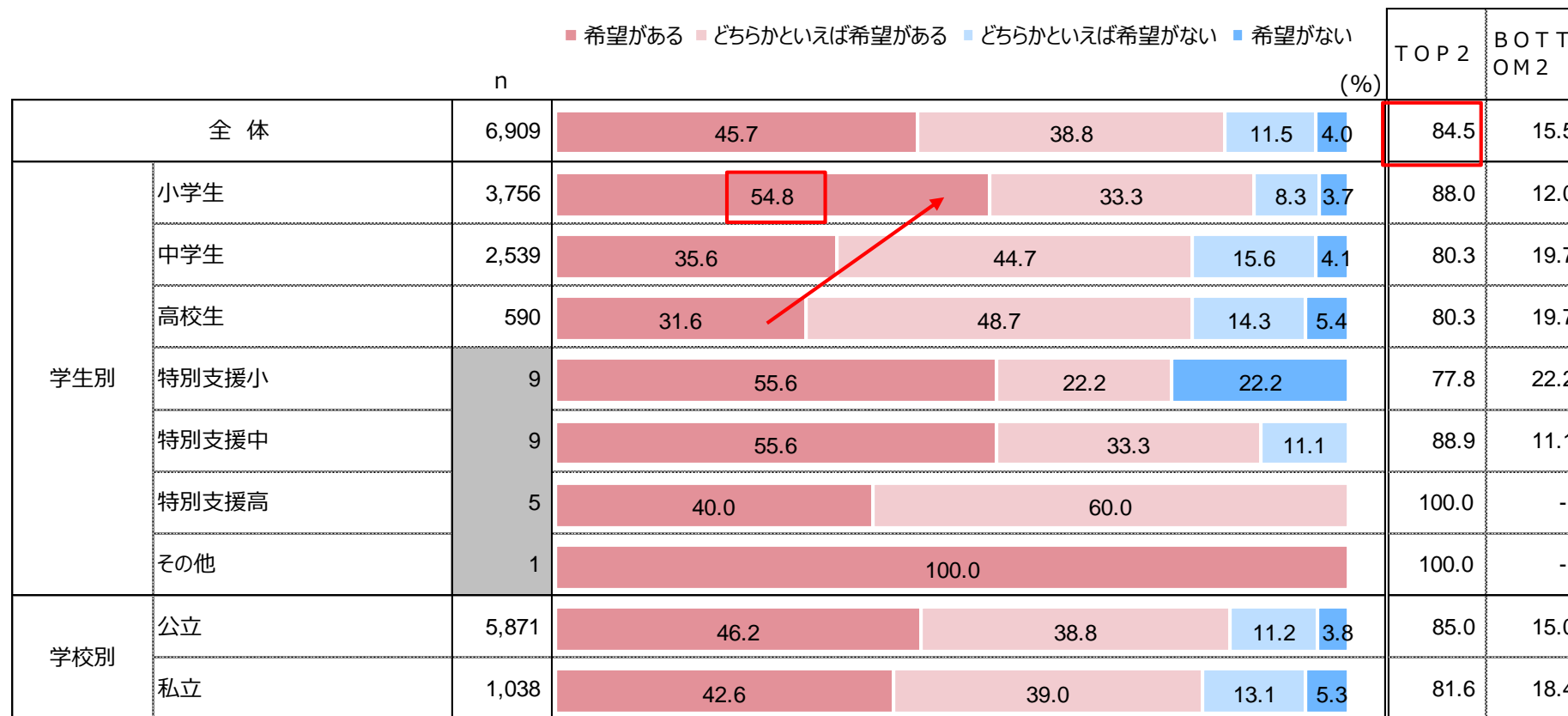
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... /5pt以上高い... /5pt以上低い... /10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

全体では「希望がある」は4割半ば、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」を合わせたTOP2は8割半ばとなっている。
学生別では「希望がある」は小学生5割半ば、中学生3割半ば、高校生はそれぞれ3割強と学齢が下がるほど高くなっている。

Q8. 自分の将来について明るい希望を持っていますか？（1つ選択）



※nが30未満の時は参考値

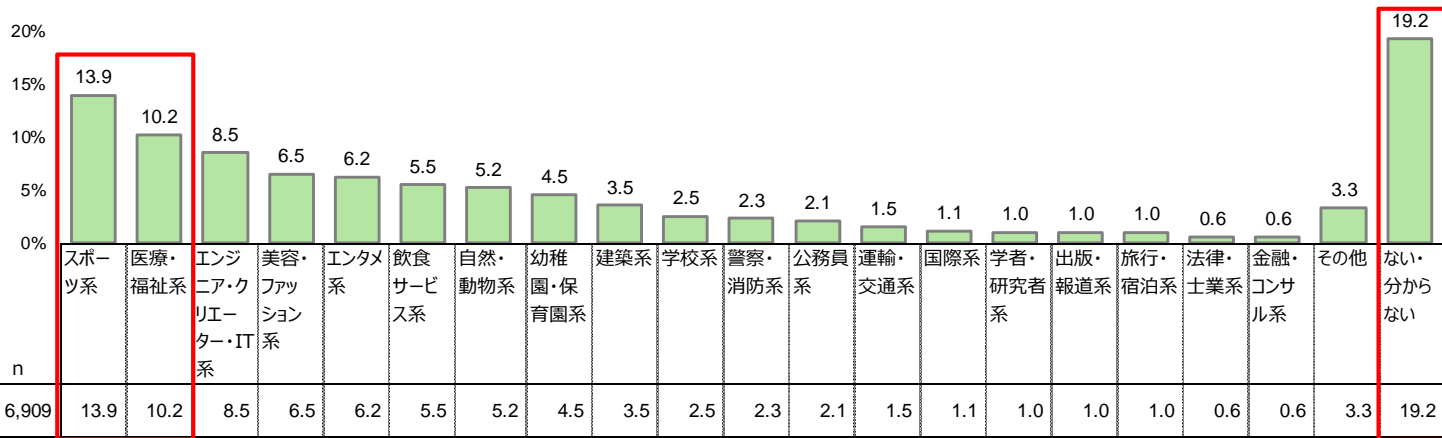
TOP2 = 希望がある + どちらかといえば希望がある の合計
BOTTOM 2 = どちらかといえば希望がない + 希望がない の合計

将来就きたい職業

全体では「ない・わからない」が2割弱と最も高く、次いで「スポーツ系」が1割半ば、「医療・福祉系」が1割となっている。

学生別では「スポーツ系」は小学生2割弱に対し、中学生、高校生は1割に満たず年齢が下がるほど高くなっており、「医療・福祉系」は小学生1割弱、中学生1割強、高校生2割強と年齢が上がるほど高くなっている。「ない・わからない」は中学生が3割弱と小学生、高校生と比べ高くなっている。

Q9. 将来、就きたい職業は何ですか？ (1つ選択)



		n	スポーツ系	医療・福祉系	エンジニア・クリエイター・IT系	美容・ファッション系	エンタメ系	飲食サービス系	自然・動物系	幼稚園・保育園系	建築系	学校系	警察・消防系	公務員系	運輸・交通系	国際系	学者・研究者系	出版・報道系	旅行・宿泊系	法律・士業系	金融・コンサル系	その他	ない・わからない	
全体		6,909	13.9	10.2	8.5	6.5	6.2	5.5	5.2	4.5	3.5	2.5	2.3	2.1	1.5	1.1	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	3.3	19.2	
学生別	小学生	3,756	18.9	7.9	8.8	6.9	7.6	6.5	6.0	4.9	3.3	2.1	2.4	1.1	1.5	0.7	1.4	0.8	0.6	0.6	0.2	3.0	14.7	
	中学生	2,539	9.7	11.0	8.2	5.8	4.6	3.9	4.2	4.3	4.0	2.6	2.1	2.7	1.5	1.1	0.5	1.1	1.0	0.6	0.7	3.8	26.5	
	高校生	590	1.0	21.5	7.4	6.7	3.5	5.9	3.7	3.0	2.4	4.2	1.8	5.7	1.5	3.4	1.2	1.5	2.7	0.5	3.0	3.0	16.3	
	特別支援小	9	-	-	22.2	-	11.1	-	-	-	22.2	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-
	特別支援中	9	-	22.2	22.2	-	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-
	特別支援高	5	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	14.6	9.7	8.5	6.4	6.1	5.2	5.1	4.6	3.7	2.7	2.2	2.0	1.4	1.1	1.1	1.1	0.9	0.6	0.6	3.4	19.1	
	私立	1,038	10.4	13.2	8.4	7.0	6.4	6.9	5.4	4.3	2.2	1.3	2.7	2.5	2.1	1.0	0.7	0.6	1.4	0.8	0.6	2.9	19.3	

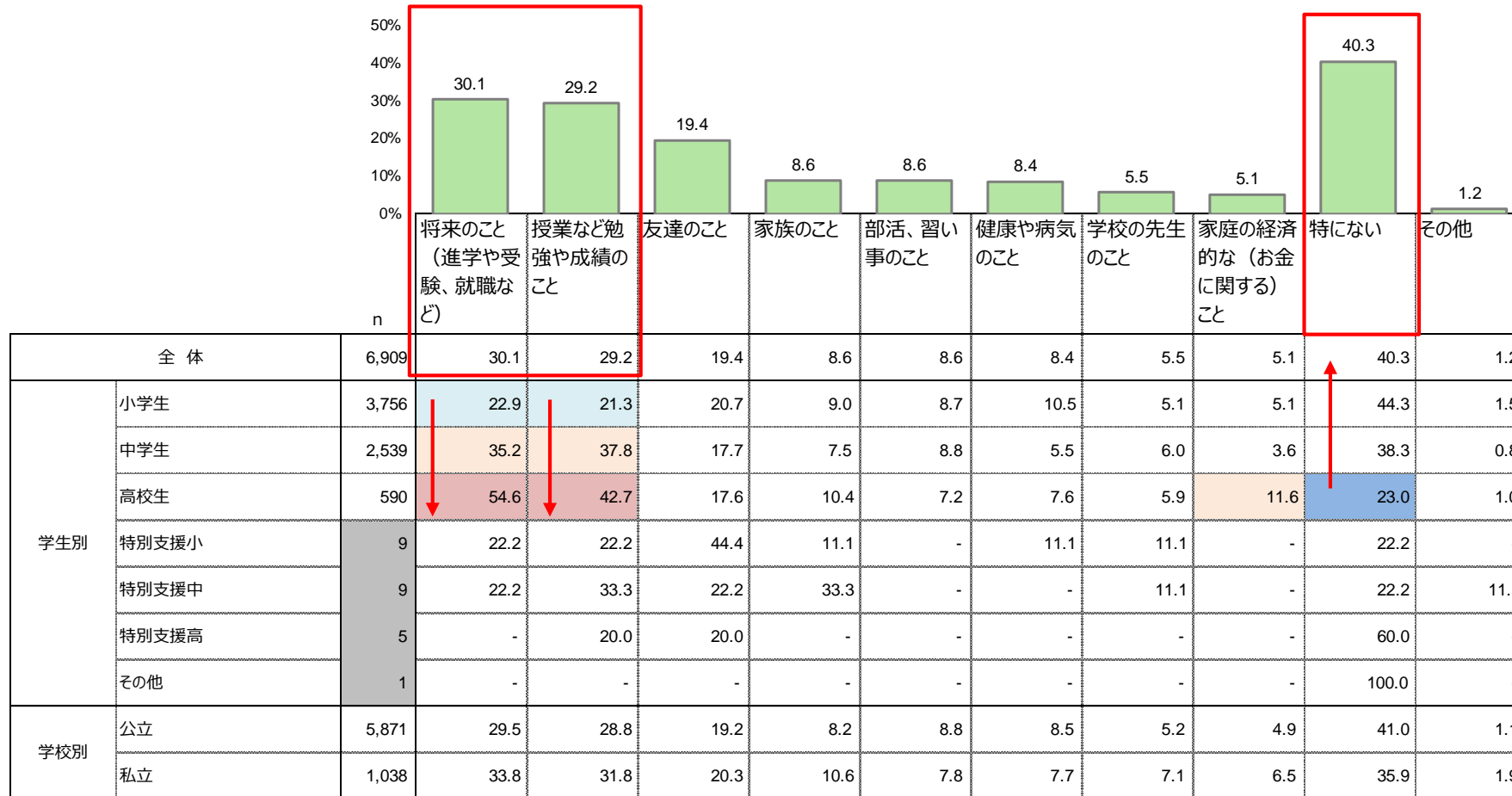
※n≧30で、全体よりも10pt以上高い... /5pt以上高い... /5pt以上低い... /10pt以上低い...
 ※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

生活の中での困りごと、心配事

全体では「特にない」が4割で最も高く、次いで「将来のこと」が3割、「授業など勉強や成績のこと」が3割弱となっている。
 学生別では「将来のこと」は小学生2割強、中学生3割半ば、高校生5割半ばと年齢が上がるほど高くなっており、「授業など勉強や成績のこと」でも小学生が2割強に対し中学生4割弱、高校生4割強と同様の傾向がみられる。
 「特にない」は年齢が下がるほど高くなっていく。

Q10. 生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか？ (複数選択可)



※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

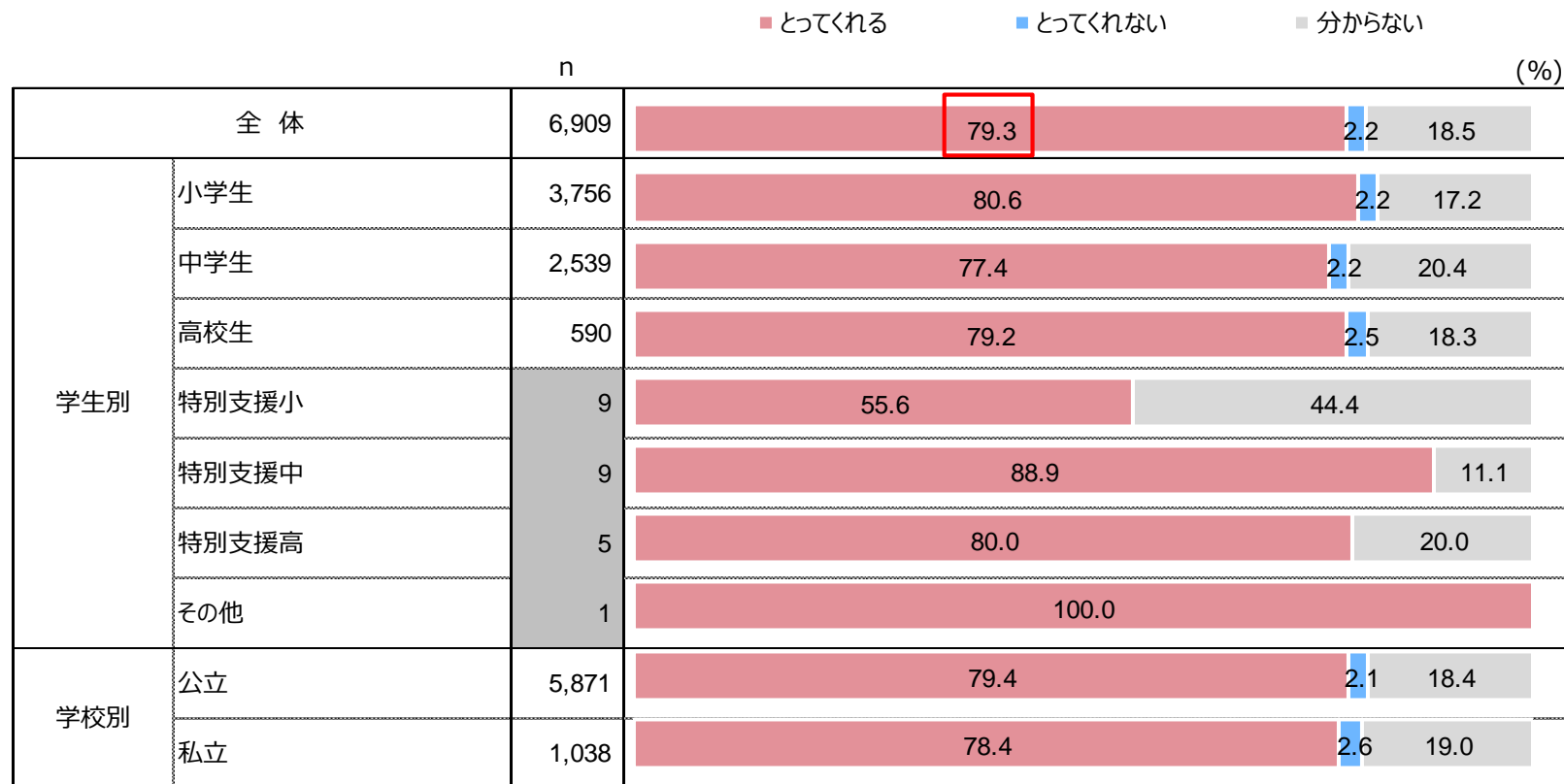
※全体順で降順ソート

家族が自身と向き合う時間をとっているか

単位 (%)
本調査回答者全員 (n=6,909)

全体では「とってくれる」が8割弱となっており、学生別・学校別でもそれぞれ8割前後となっており大きな差は見られなかった。

Q11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか？（1つ選択）

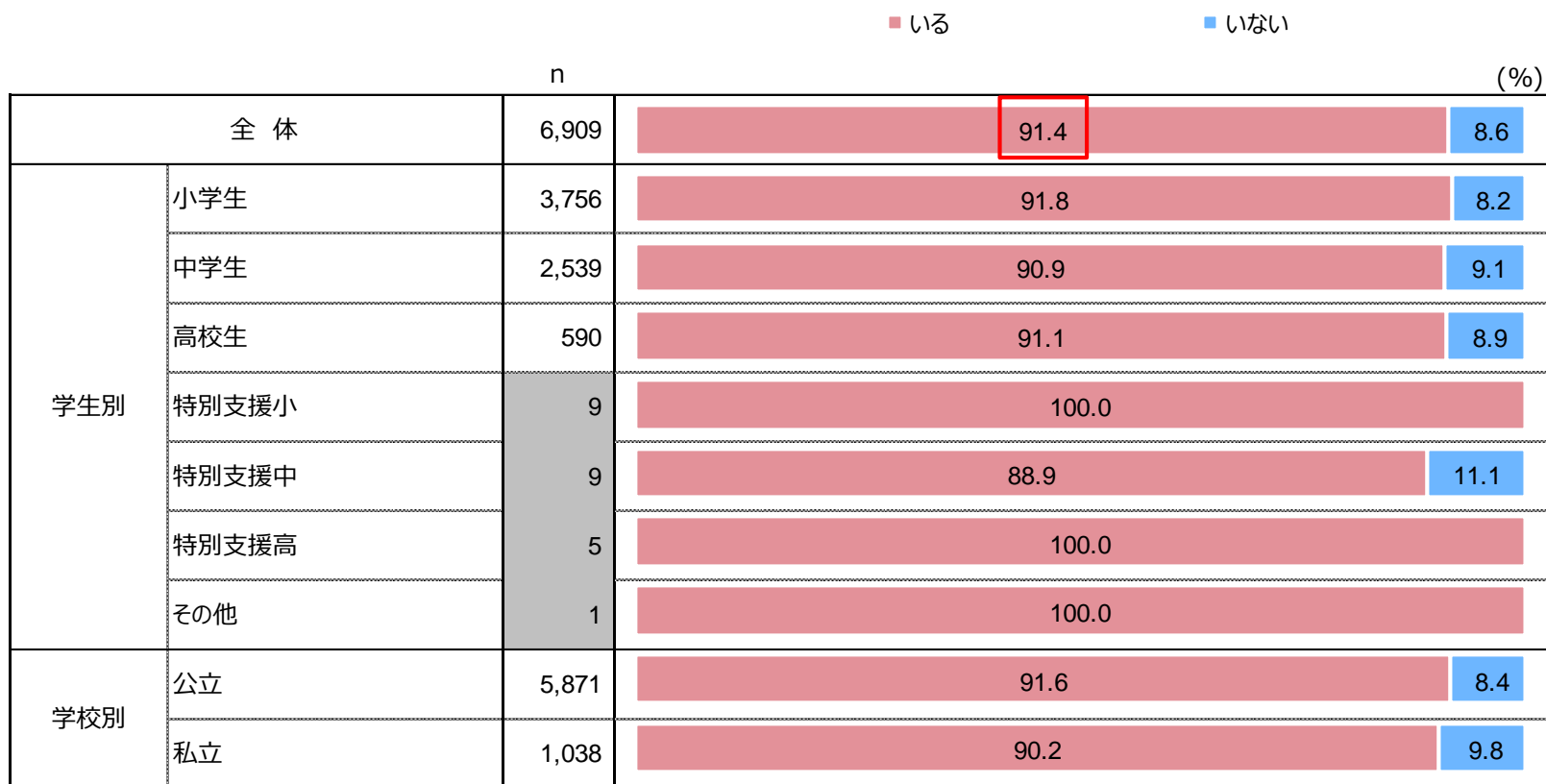


※nが30未満の時は参考値

困ったときに相談できる人がいるか

全体では「いる」が9割強となっており、学生別・学校別でもそれぞれ9割を超えていて大きな差は見られなかった。

Q12. 困ったときに相談できる人がいますか？（1つ選択）

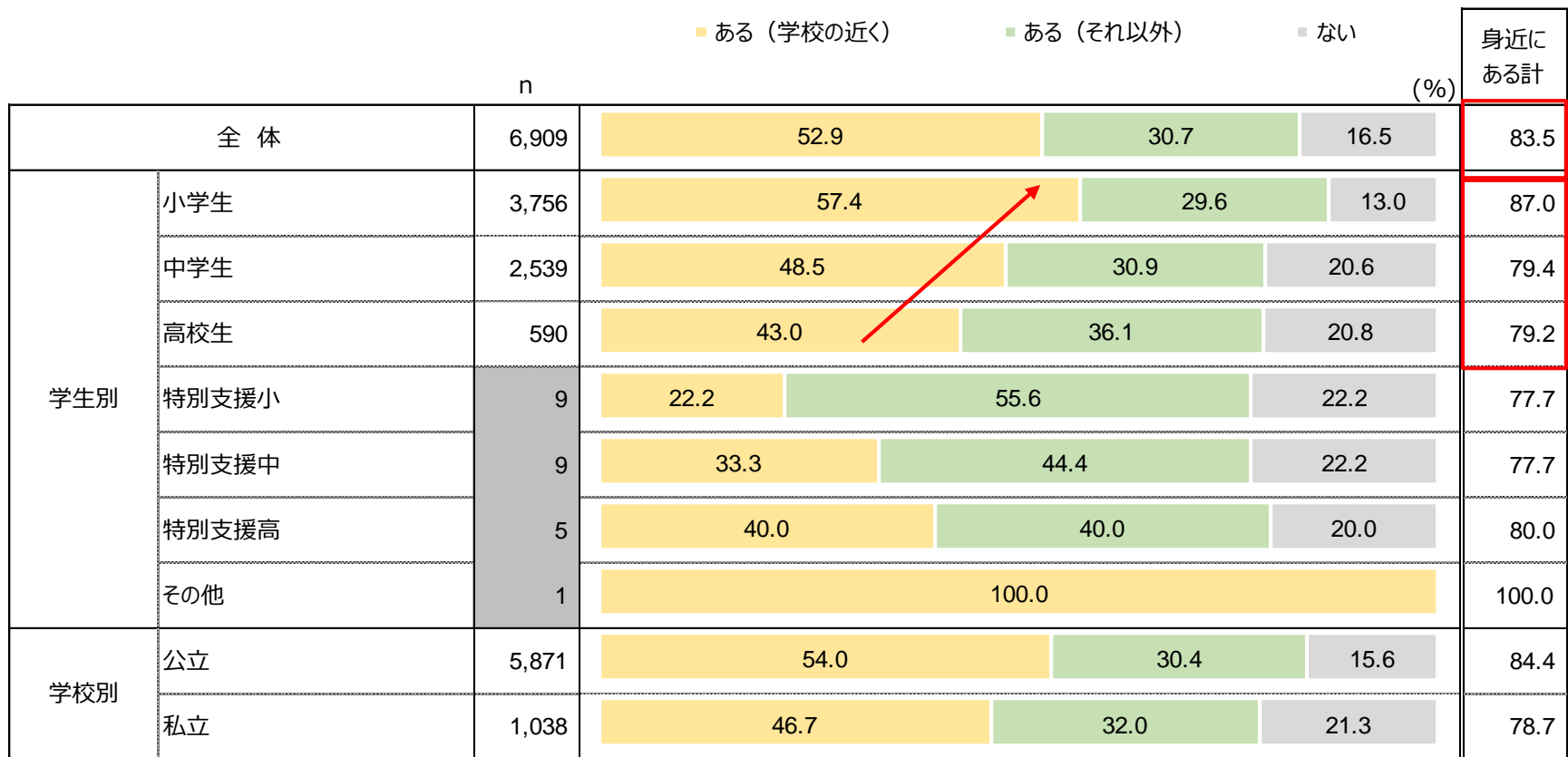


※nが30未満の時は参考値

放課後に自宅や学校以外で居場所が身近にあるか

全体では「ある(学校の近く)」が5割強、「ある(それ以外)」が3割強で「ある」を合わせた身近にある計は8割半ばとなった。
 学生別では身近にある計は小学生が9割弱、中学生、高校生がそれぞれ8割弱と小学生と中高生で差が見られた。「ある(学校の近く)」は学齢が下がるほど高くなっている。

Q13. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか。（1つ選択）



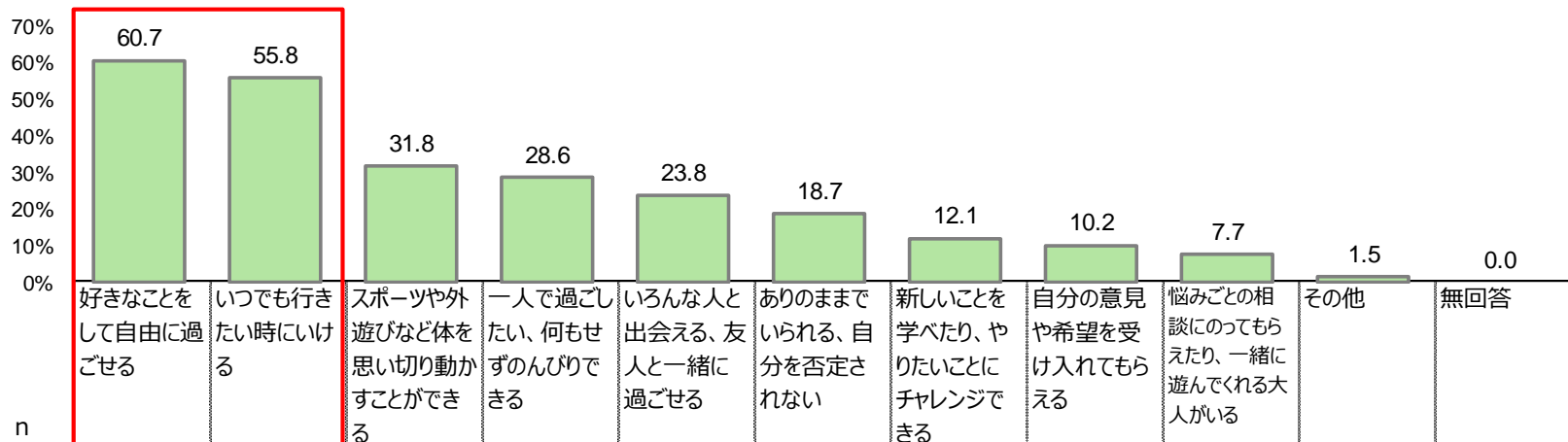
※nが30未満の時は参考値

身近にある計 = ある(学校の近く) + ある(それ以外) の合計

放課後に自宅や学校以外で利用したい居場所

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高く6割強、次いで「いつでも行きたい時にいける」が5割半ばとなっている。
 学生別で見ると、「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる」が学齢が下がるほど高くなっており、「いつでも行きたい時にいける」「一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる」は学齢が上がるほど高くなっていく。

Q14. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか。（3つまで選択可）



		n	好きなことをして自由に過ごせる	いつでも行きたい時にいける	スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる	いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	ありのままにいられる、自分を否定されない	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	悩みごとの相談にのってもらえたり、一緒に遊んでくれる大人がいる	その他	無回答
全体		6,909	60.7	55.8	31.8	28.6	23.8	18.7	12.1	10.2	7.7	1.5	-
学生別	小学生	3,765	58.2	53.2	35.1	23.3	23.7	17.1	13.7	12.4	9.6	1.6	-
	中学生	2,548	64.2	57.8	29.7	32.8	25.4	20.7	10.2	7.9	4.9	1.3	-
	高校生	595	61.5	64.0	20.3	43.5	17.5	20.5	10.3	6.1	7.2	1.5	-
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	60.8	55.7	32.3	28.2	24.2	18.6	12.5	10.3	7.6	1.4	-
	私立	1,038	60.0	56.8	29.4	30.7	21.4	19.5	10.2	9.9	7.7	1.7	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

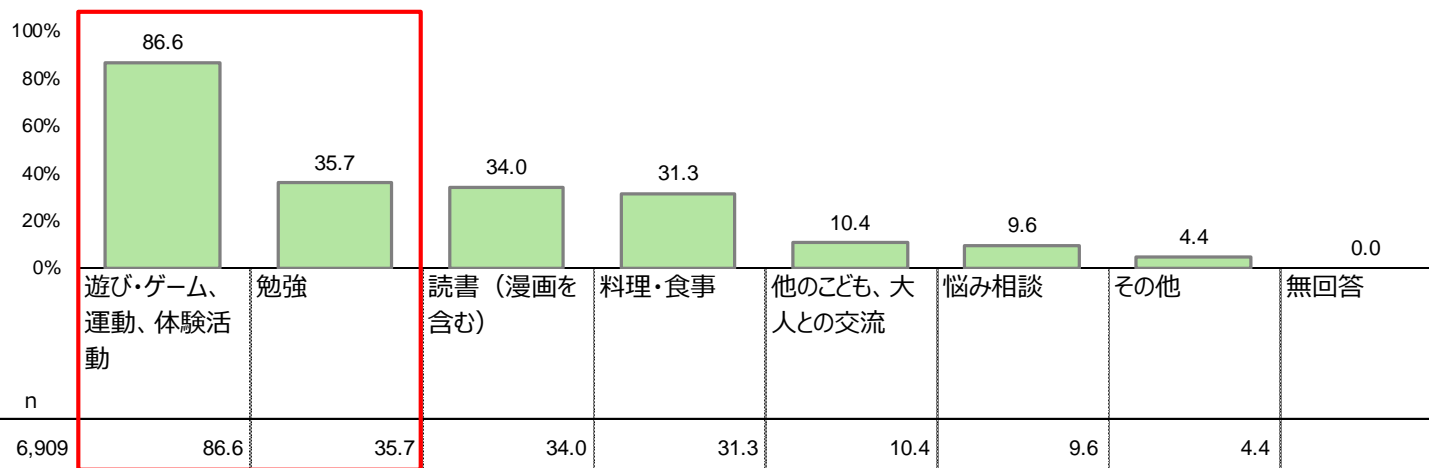
※nが30未満の時は参考値

放課後に自宅や学校以外の居場所でできるとうれしい事

単位 (%)
本調査回答者全員 (n=6,909)

全体では「遊び・ゲーム、運動、体験活動」が9割弱で最も高く、次いで「勉強」が3割半ば、「読書」「料理・食事」が3割強となっている。学生別で見ると「遊び・ゲーム、運動、体験活動」は学齢が下がるほど高くなっており、「勉強」は学齢が上がるほど高くなっている。

Q15. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所で、あなたは何かできるとうれしいですか？（3つまで選択可）



n		遊び・ゲーム、運動、体験活動	勉強	読書（漫画を含む）	料理・食事	他のこども、大人との交流	悩み相談	その他	無回答	
全体	6,909	86.6	35.7	34.0	31.3	10.4	9.6	4.4	-	
学生別	小学生	3,756	87.8	30.9	33.6	32.6	9.8	10.5	4.1	-
	中学生	2,539	87.2	38.9	35.6	29.9	10.9	8.1	5.0	-
	高校生	590	76.1	51.6	29.9	28.9	12.3	10.8	3.4	-
	特別支援小	9	66.7	33.3	33.3	33.3	11.1	-	11.1	-
	特別支援中	9	66.7	55.6	44.4	11.1	11.1	11.1	-	-
	特別支援高	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	87.0	36.0	34.7	31.1	10.2	9.2	4.3	-
	私立	1,038	84.4	33.5	30.3	32.3	11.7	12.3	4.5	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...
※nが30未満の時は参考値

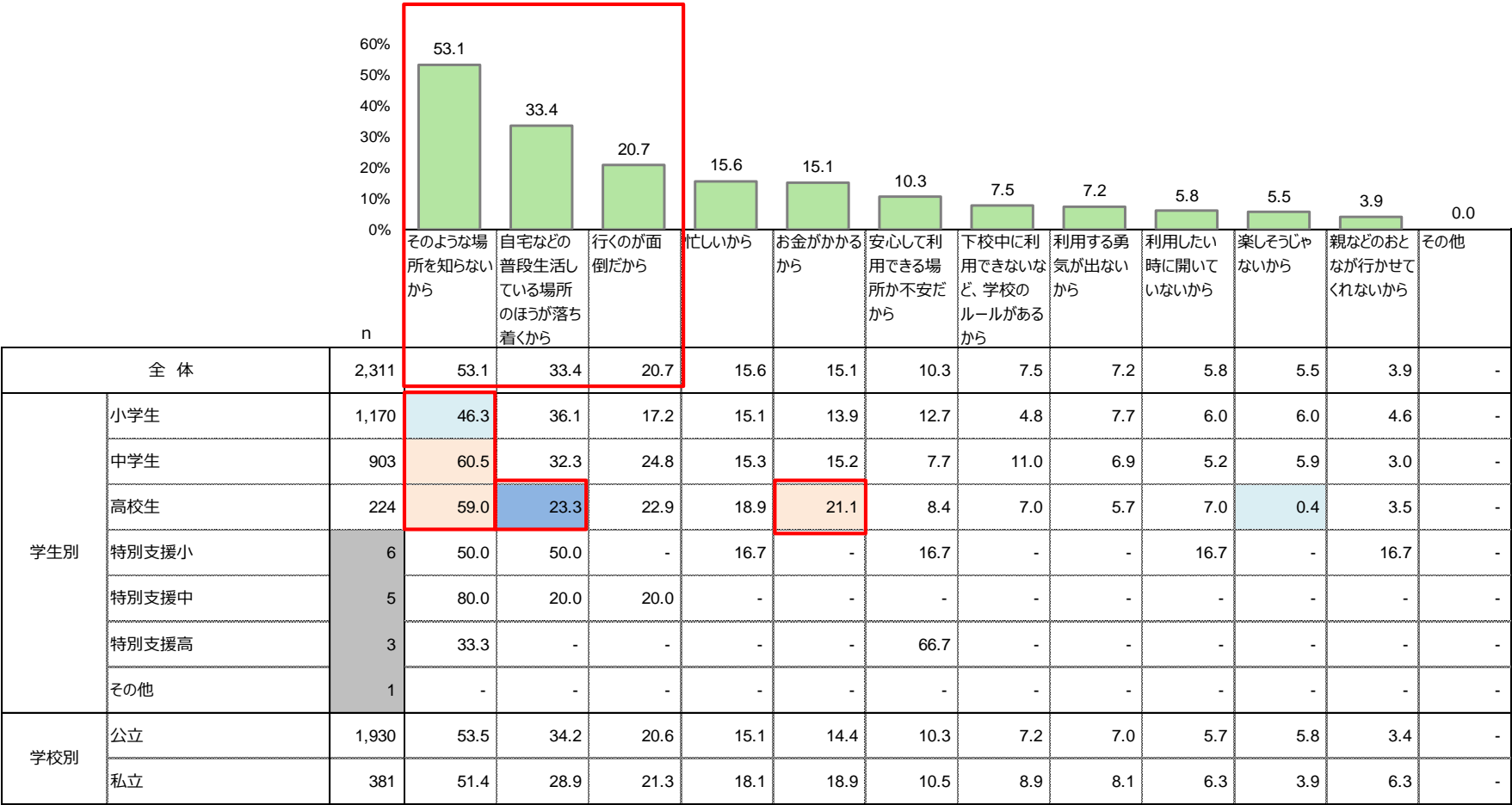
※全体順で降順ソート

放課後に自宅や学校以外の居場所を利用しない理由

全体では「そのような場所を知らないから」が5割強で最も高く、次いで「自宅などの普段生活している場所のほうが落ち着くから」が3割強、「行くのが面倒だから」が2割強となっている。

学生別では、「そのような場所を知らないから」は小学生が5割弱に対し中学生・高校生はそれぞれ6割台と差が見られ、「自宅などの普段生活している場所のほうが落ち着くから」は高校生が2割半ばと他より低く、「お金がかかるから」は高校生が2割強と他より高くなっている。

Q16. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所を利用したことがないという方にお聞きます。そのような場所を利用したことがない理由は何ですか。（複数選択可）

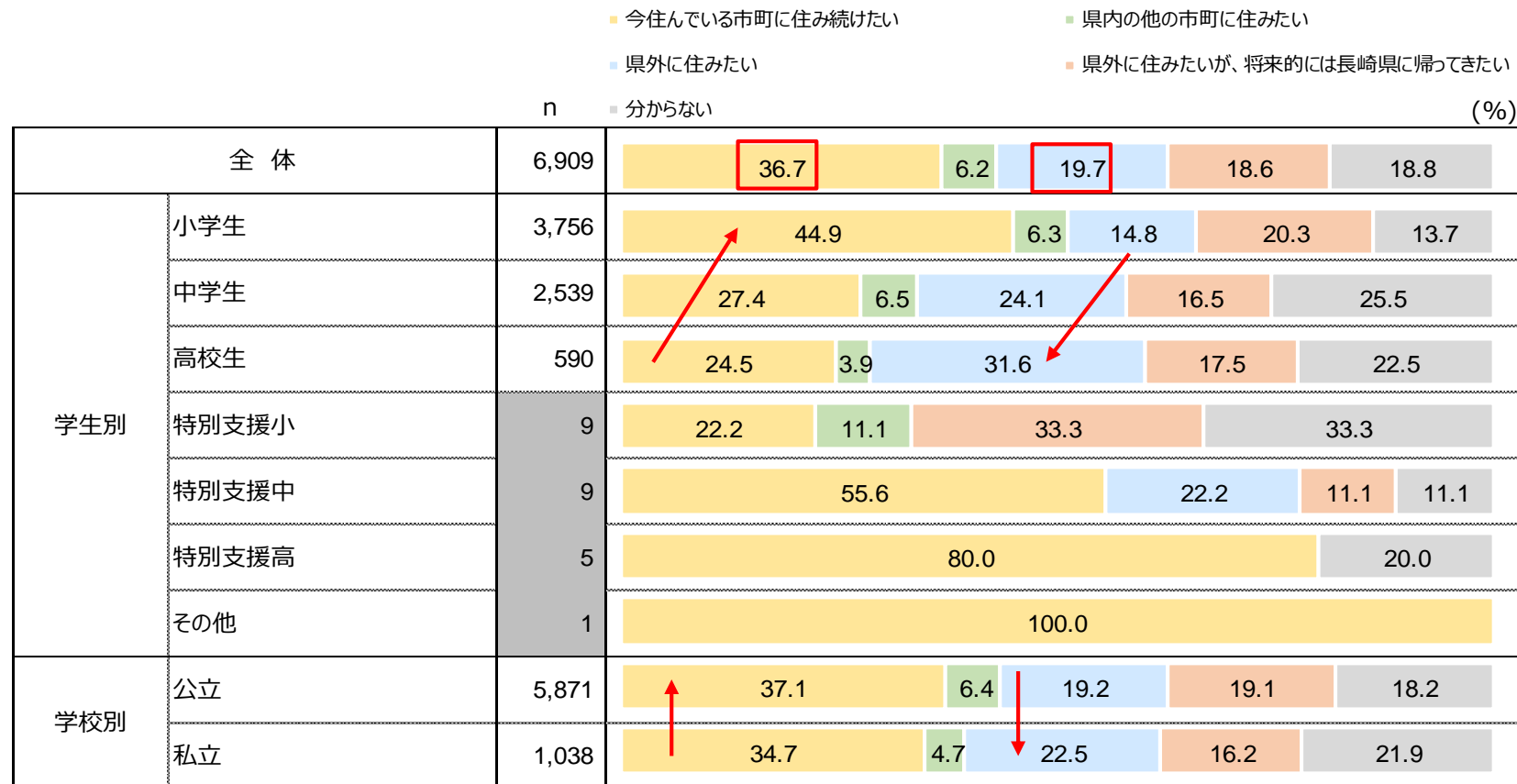


※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

全体では「今住んでいる市町に住み続けたい」が4割弱、「県外に住みたい」が2割となっている。
 学生別・学校別では「今住んでいる市町に住み続けたい」は学齢が下がるほど高く、私立より公立が高くなっており、「県外に住みたい」は学齢が上がるほど高く、公立より私立が高くなってきている。

Q17. これからも長崎県に住み続けたいと思いますか？（1つ選択）

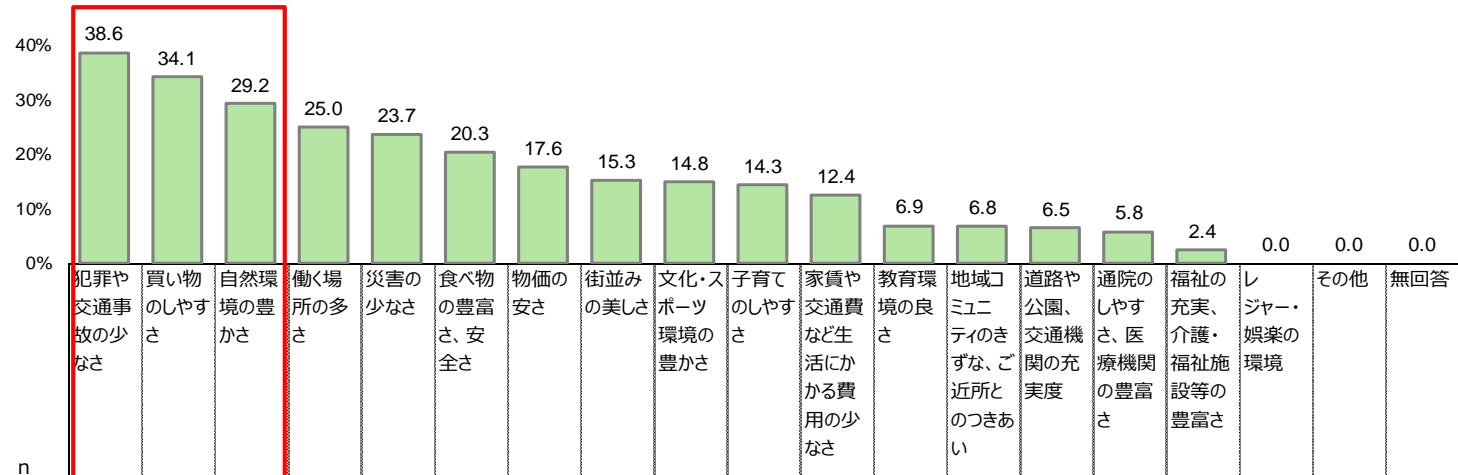


※nが30未満の時は参考値

住む場所を選ぶ上で重要視する点

全体では「犯罪や交通事故の少なさ」が4割弱と最も多く、次いで「買物のしやすさ」が3割半ば「自然環境の豊かさ」が3割弱となっている。
 学生別では「犯罪や交通事故の少なさ」「自然環境の豊かさ」「災害の少なさ」「食べ物の豊富さ、安全さ」「文化・スポーツ環境の豊かさ」は学齢が下がるほど高くなっており、「買い物のしやすさ」「働く場所の多さ」「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」「道路や公園、交通機関の充実度」が学齢が上がるほど高くなっている。

Q18. 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか？（3つまで選択可）



		n	犯罪や交通事故の少なさ	買い物のしやすさ	自然環境の豊かさ	働く場所の多さ	災害の少なさ	食べ物の豊富さ、安全さ	物価の安さ	街並みの美しさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	子育てのしやすさ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	教育環境の良さ	地域コミュニティのきずな、ご近所とのつきあい	道路や公園、交通機関の充実度	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	レジャー・娯楽の環境	その他	無回答	
全体		6,909	38.6	34.1	29.2	25.0	23.7	20.3	17.6	15.3	14.8	14.3	12.4	6.9	6.8	6.5	5.8	2.4	-	-	-	
学生別	小学生	3,756	41.6	28.7	34.4	21.3	26.2	22.0	15.5	13.2	17.1	16.3	8.7	7.6	7.3	4.8	4.1	2.4	-	-	-	
	中学生	2,539	36.3	38.4	24.6	29.1	22.1	19.0	20.8	17.9	13.1	11.8	15.7	6.1	6.3	7.5	7.6	2.1	-	-	-	
	高校生	590	29.9	49.9	15.3	30.9	15.3	15.1	16.8	17.5	7.9	12.8	22.4	6.2	6.4	12.9	9.1	3.5	-	-	-	
	特別支援小	9	44.4	66.7	33.3	11.1	33.3	22.2	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援中	9	22.2	44.4	44.4	33.3	55.6	11.1	11.1	33.3	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-
	特別支援高	5	20.0	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	39.0	33.5	29.7	24.6	23.8	20.4	17.6	15.3	15.4	14.4	12.0	7.0	7.0	6.4	5.7	2.3	-	-	-	
	私立	1,038	36.2	37.7	26.3	27.1	23.0	19.9	17.2	15.4	11.4	13.7	14.8	6.6	5.9	7.3	6.3	2.5	-	-	-	

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い... /

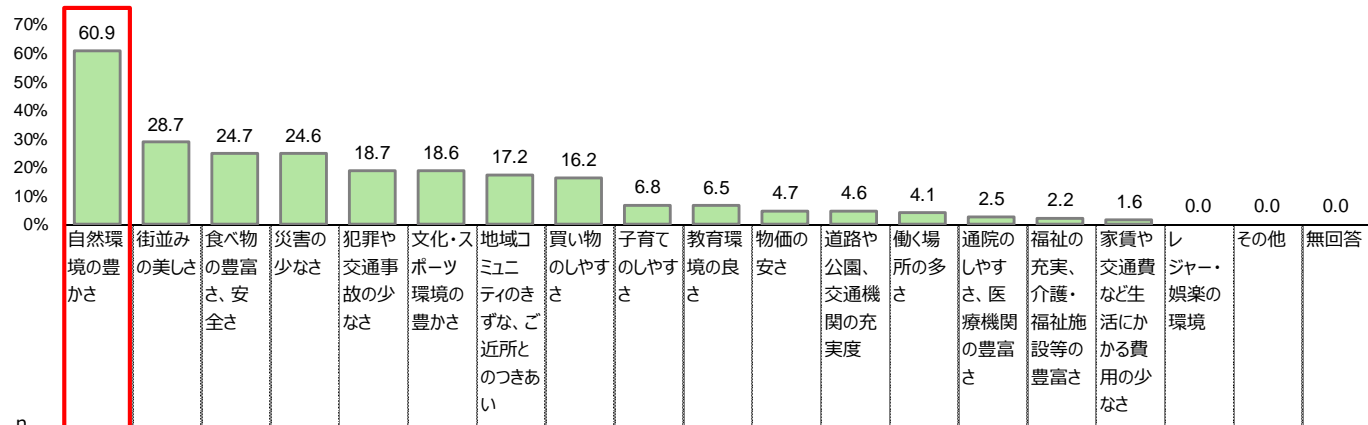
※nが30未満の時は参考値

長崎県の良い点

全体では「自然環境の豊かさ」が6割半ばと最も高く、他と比べても顕著に高い。

学生別では「街並み美しさ」「食べ物の豊富さ、安全さ」は学齢が上がるほど高くなっており、「文化・スポーツ環境の豊かさ」「買い物のしやすさ」「教育環境の良さ」は学齢が下がるごとに高くなっている。

Q19. あなたは長崎県の良さはどんなところだと思いますか？（3つまで選択可）



		n	自然環境の豊かさ	街並みの美しさ	食べ物の豊富さ、安全さ	災害の少なさ	犯罪や交通事故の少なさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	地域コミュニティのきずな、ご近所とのつきあい	買い物のしやすさ	子育てのしやすさ	教育環境の良さ	物価の安さ	道路や公園、交通機関の充実度	働く場所の多さ	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	レジャー・娯楽の環境	その他	無回答	
全体		6,909	60.9	28.7	24.7	24.6	18.7	18.6	17.2	16.2	6.8	6.5	4.7	4.6	4.1	2.5	2.2	1.6	-	-	-	
学生別	小学生	3,756	59.1	25.2	22.9	24.5	19.3	20.8	16.5	18.2	8.4	8.1	5.1	5.4	5.4	2.3	2.5	1.5	-	-	-	
	中学生	2,539	63.7	32.6	26.5	23.7	17.9	16.9	19.6	14.2	4.8	5.1	4.1	3.9	2.7	2.7	1.6	1.5	-	-	-	
	高校生	590	60.7	34.5	28.4	28.7	18.8	12.3	11.6	12.3	5.4	1.5	4.9	2.5	2.0	3.2	2.4	2.4	-	-	-	
	特別支援小	9	66.7	22.2	33.3	44.4	22.2	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援中	9	55.6	11.1	33.3	22.2	-	11.1	-	44.4	-	22.2	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援高	5	20.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	80.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	61.4	28.8	24.6	24.4	18.5	19.0	17.5	16.4	6.6	6.7	4.7	4.8	4.1	2.6	2.2	1.5	-	-	-	
	私立	1,038	58.1	28.4	25.4	26.0	20.0	16.4	15.4	15.0	7.8	5.1	4.8	3.8	3.9	2.3	2.2	1.6	-	-	-	

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

■ 公共施設に関すること

- ・遊具がいっぱいある公園や大きなお店ができたり、色々な人と交流できたりするところなどがあると私は理想の長崎県（市）になるとも思います！（小学校）
- ・高齢者が過ごしやすいく所もあるけど、こどもの過ごしやすいく所もほしいから高齢者と子供が交流したり一緒にすごせたりする公園があったらいいと思う。（小学校）
- ・放課後や休みの日に、みんなが勉強や遊んだり好きなことができるスペースみたいなのを公民館などで、開設したらいいと思います。なぜなら、休みの日など遊ぶときに雨のときとかは特に、外で遊べないから遊ぶところがあまりないからあったらいいなと思います。（中学校）
- ・貸し切ることの出来るダンススタジオ、いろんな学校の子との交流出来るところ 小さい子供も遊べそうな公園や、障害を持っている人も楽に行ける場所（中学校）
- ・小学生の時、通行人や車の関係で、公園での水遊びやボール遊びが一部制限されて窮屈だったので、それらの遊びが迷惑がかからないようにできる環境があるといいと思う。特に近年は夏が暑いので、屋内の公園施設や、小川や噴水のあり、手軽に水遊びができる公園があると良いと思う。（高校）
- ・長崎市に色々な運動ができる場所が少ないのでそういった施設を増やして欲しいです。お金下さい。（高校）
- ・公園などを増やす（高校）

■ 商業施設に関すること

- ・福岡県にあるキザニアのように子どもたちだけが利用できる施設を作りこれが実現したらこれを起点に子供を中心とした施設をさらに増やしていけいいと思う。（小学校）
- ・長崎県は、小中学生は、校区外には行けないというルールがあるから小学生が自由な買い物などができないから、買い物ができる場所がほしい（小学校）
- ・アニメのなどがコラボしたカフェなどができてほしい。いろいろなスポーツ観戦ができるところを作ってほしい（中学校）
- ・東京、福岡などにある有名なショップが、長崎にもっとあるといい {ポケモンセンター・お宝市場・まんだらけ・ベビタピ・タワーレコード・油そば・一蘭・シロのホテル・IKEA・クリスピー・}（中学校）
- ・地方公共団体と企業で取り組み、地方や、中央街に安価なレジャー施設や、遊園地等の家族や、子供同士で遊びに行ける場所を作ること。学生の体験学習の一環として、企業や、公務員さんの職場見学や、職業体験を行うこと。学生の様々なものへの割引を充実させること。(公共交通機関や、施設の入場料など)（高校）
- ・テスト期間の時期など勉強スペースが少なく混んでいて、せっかく行っても勉強できなかったり、いざどこかに集まって相談に乗る・作業することがあるときに場所がどこかからの飲食店に入らなければいけないので、あまりお金をかけずに落ち着けるような場所があると過ごしやすくなると思います。（高校）

■ 遊べる場所に関すること

- ・遊べるところ（お金がかからない）身近に友達と行ける場所がほしい（小学校）
- ・小さい子から、大人まで遊べる広い施設 いろいろなことが体験できる場所が近くにほしい（小学校）
- ・公園や遊べるところを増やしたほうがいいと思います。あと自由に過ごせるところも増やしたほうがいいと思います。（小学校）
- ・遊べる場所が少ないと思う。子どもの会議のようなものを増やすと子どもが主役になれていいと思う。（中学校）
- ・僕の子どものイメージは「いっぱい遊ぶ」だとも思います。なので、公園には遊具などの追加また、子供が簡単に遊べる場所、地域の友達と集まる場所などが必要だと思う（中学校）
- ・子供が遊べる場所が少ない。小さい子供が遊べる場所は結構あると思うけど中学生ぐらいが遊べる場所は限られていると思う。（中学校）
- ・一人一人が安心して勉強できる環境や、自由に遊べる場所があると思う。（中学校）
- ・中高生の遊び場を作ってほしいです。小さい子の公園や施設はあるけれど、中高生の遊ぶところがなくて、結局家でゲームをするしかなくなってしまいます。体を動かして遊べる施設を作って欲しいです。（高校）
- ・子供が遊べる施設を増やすことができればいいと思う。これからも子供が安全安心に暮らせる地域を目指してほしい。（高校）
- ・もっと学生が遊べる場所を増やすべきだと思う。（高校）
- ・子供が主体的に遊べる環境を計画していったら、子供にとって遊べるし、いろいろ学ぶこともできるし、先生方も楽だと思うのでいいと思います。（高校）

Q19. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

■ 子供の意見に関すること

- ・大人はできるだけ子供（他人の子供にも、自分の子供）に、できるだけ子どもの意見を尊重する。子供が軸として何かを考え、大人がそれについて考え、（考案）実行に移すことが大事だと思うです。（小学校）
- ・子供関係のことは、大人が勝手に決めるのではなく子どもの意見なども聞いてから決める（小学校）
- ・子供の意見をしっかり受け止めてくれる大人なども必要だと思います。子供に体験をさせたりすることも、子供が大人になって仕事の範囲を広めることにもなります。あと、AIに頼りすぎないことも大切だと思います。人の手で作られたものを継続するには、AIに頼りすぎないことと、子供に、将来について安心させることが、大切なのではないのでしょうか。（小学校）
- ・子供の意見も聞いてあげること。言いたくても言えない（言う勇気が出ない。）とか、たとえ言っても耳を傾けてもらえないことを避けるために。意見を言ってくれたら、その意見を流さずに、しっかり向き合ってほしい。たぶん、その事を言うためにすごく勇気がある子もいるかもしれないから。（小学校）
- ・理想の姿としては、子どもの意見を積極的に受け入れて、様々な場所で活用できるといいのではないかなと思います。「子どもだから・・」などの偏見をやめ、子どもだからこそある無限の可能性を信じてみてはどうかと思います。（中学校）
- ・大人ばかりの意見ではなく、子どもの意見を取り入れて実施することでより楽しくユニークな長崎県になり子供も大人も満足できる。（中学校）
- ・大人がいつかこうなる。ではなく子供が主役の社会にしたいのなら子どもの意見も聞くべきではあるとおもいます。政治の世界でも若い人が活躍するするようになれば良いと思います。長崎の魅力はまだあると思うのでそれ話最大限に活かすことがよい社会への一歩だと思います。（中学校）
- ・子供が活発な意見を発するためには教師の人口を増加させたり、質の良い教育をさせることが一番だと思います。質の良い教育とは、例えば生徒が自主的に取り組む授業（調べ学習）を取り入れるとか、ITを多用した授業など、生徒が楽しく、学校に行きたくなるような授業をすると子どもの意見が活発になり不登校者数も減ると考えています。（中学校）
- ・定期的に子供の意見をどんなに考えが甘いものでもローカルメディアでとりあげて市民に認知してもらおう機会を設ける。（高校）
- ・子供の意見を反映させた行政を行える機会を作ればいいと思う（高校）
- ・子どもの意見をしっかり聞いてくれる場所（いろんな人に意見を求めても良い所）（高校）
- ・娯楽施設。イベント。子供の意見が議会に通る。（高校）

■ 治安・安全に関すること

- ・誘拐がないかを大人の人が見たりみんな周りをよく見て行動すると良いと思います（小学校）
- ・犯罪を無くしてほしいです。みんなが優しく思いやれる人が増えてほしいです。知らないおばあさんやおじいさんが横断歩道じゃないところを歩いているのを最近よく見かけます。車が来るかもしれないのにあぶないなあと思います。それを子供の前でしないでほしいです。事故になりかねないので横断歩道じゃないところを歩くのをやめてほしいです。（小学校）
- ・犯罪や交通事故の少ない町・災害の少ない町・福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ（小学校）
- ・事件がなく、環境豊かで、お店がいっぱいあってみんなが安心安全で過ごせる街にしてほしい（中学校）
- ・子供が自由に暮らせるほど安全で快適な姿が理想の姿だと思います。（中学校）
- ・子供が災害のとき安全に避難できるようにそゆう参加できる体験を作っていたほうが良いと思います。（中学校）
- ・身近に感じる危険や日常生活の中で感じた不満や不安を、相談もしくはその解決案をこどもが直接自治体に提言できる場を設けてもらおうと、こどもは気軽に自分たちの意見を主張できるかもしれない。そうすれば、自分の住む地域社会に日頃から関心を持つこどもが増え、より良い社会の姿を考え続けて政治に身を置く児童が増えていく、「こどもが主役」の長崎県が作られると感じる。（高校）